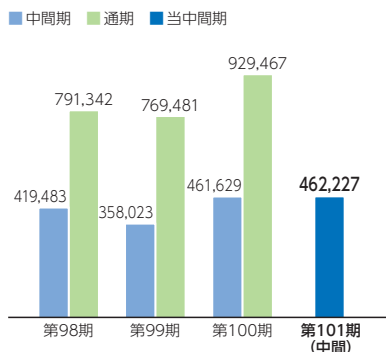


# 第101期 中間報告書

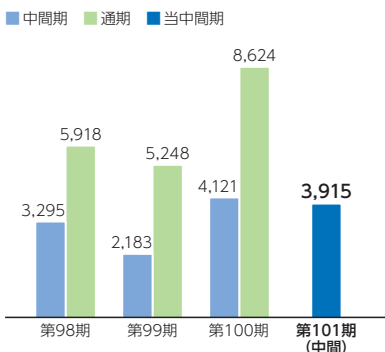
2018年4月1日から2018年9月30日まで

# ■ 財務ハイライト (連結)

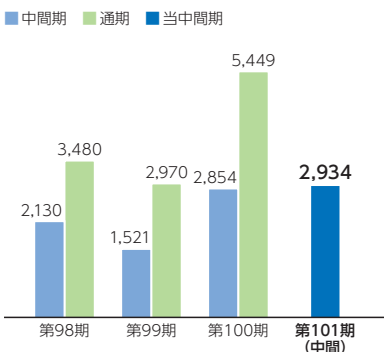
売上高 (百万円)



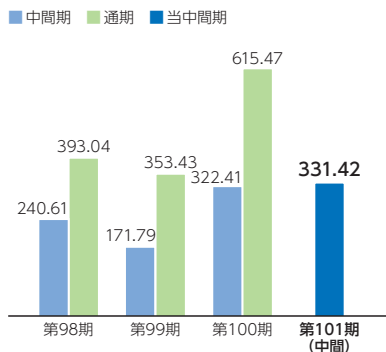
経常利益 (百万円)



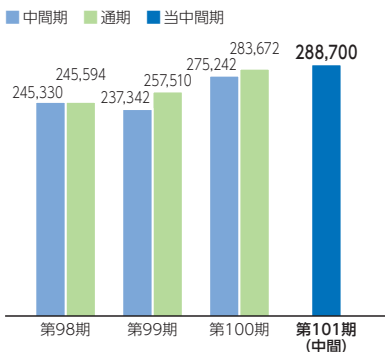
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



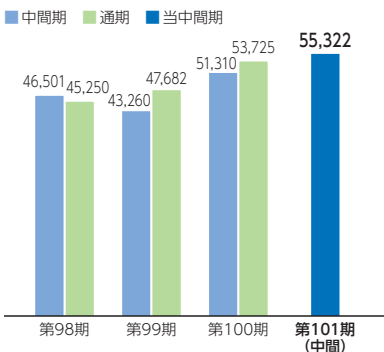
1株当たり当期純利益 (円)



総資産額 (百万円)



純資産額 (百万円)



※ 1株当たり当期純利益について  
第98期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## C O N T E N T S

財務ハイライト (連結) .....	1	業績予想/配当の状況/株式の状況 .....	6
株主の皆さまへ .....	2	神鋼商事グループ海外ネットワーク .....	7・8
事業セグメント別の概況 .....	3・4	トピックス .....	9
連結決算 .....	5	会社データ/国内事業所及び子会社 .....	10

## ■ 株主の皆さまへ

### 企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

ここに、第101期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の当社グループの現況等につき、ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、好調な米国経済に加え、中国及びアセアン諸国においても引き続き成長が見られるなど、緩やかな回復が続きました。わが国経済は、企業収益の改善に伴い、引き続き雇用・所得環境や設備投資に好調な動きが見られるなど、回復基調で推移しましたが、各国の通商政策や国内の自然災害による影響への懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の下、当社グループは海外では韓国で神戸製鋼所とNovelis Korea Limitedが合併で設立したアルミ板圧延品の製造会社「Ulsan Aluminum, Ltd.」につきまして、同社で使用される原料の供給、及び同社で生産された製品の販売事業が開始しました。また、中国における半導体・液晶製造装置用アルミ加工品の需要拡大への対応を目的に、アルミ精密加工会社「神商精密器材（蘇州）有限公司」の第2工場を開設するなど、グローバルビジネスの基盤拡充を図ってまいりました。国内では連結子会社である鉄鋼製品の卸売・加工会社「森本興産株式会社」を株式の追加取得により完全子会社化するなど、販売体制の強化を推し進めてまいりました。このような活動を通じて、メーカー商社の特色を活かしたビジネスを積極的に推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,622億27百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は35億67百万円（同1.6%減）、経常利益は39億15百万円（同5.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億34百万円（同2.8%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり55円とし、お支払い日を12月6日とさせていただきます。

なお、1株当たりの年間配当金は110円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



代表取締役社長 森地 高文

2018年12月

## ■ 事業セグメント別の概況

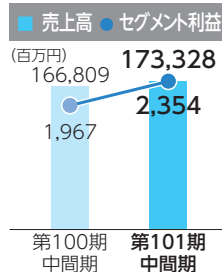
### 鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向け・輸出向けともに、取扱量が減少しましたが、価格は市況の影響により上昇しました。線材製品は国内向けの取扱量が横ばいとなり、自動車向け価格の下振れの影響により価格は下落しました。輸出向けは取扱量が横ばいとなり、価格は上昇しました。

この結果、売上高は1,733億28百万円（前年同四半期比3.9%増）となり、セグメント利益は23億54百万円（同19.7%増）となりました。



線材製品



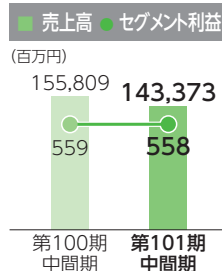
### 鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格は堅調に推移しましたが、粗鋼生産量の減少等により取扱量が減少しました。冷鉄源、合金鉄は取扱量は横ばいでしたが、価格は上昇しました。チタン原料は取扱量が横ばいで推移しました。

この結果、売上高は1,433億73百万円（前年同四半期比8.0%減）となり、セグメント利益は5億58百万円（同0.1%減）となりました。



マレーシア合金鉄プロジェクト



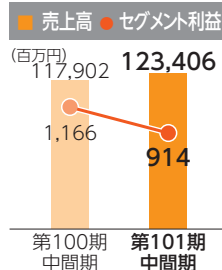
### 非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管、自動車向け端子材用銅板条の取扱量が堅調に推移しましたが、半導体向け銅板条の取扱量は減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ板条及び押出材の取扱量が増加しましたが、鉄道車両向けアルミ押出材の取扱量が減少しました。非鉄原料はアルミ地金・アルミ再生塊の取扱量が増加し、銅屑・アルミ屑の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,234億6百万円（前年同四半期比4.7%増）となりましたが、セグメント利益は9億14百万円（同21.7%減）となりました。



アルミコイル



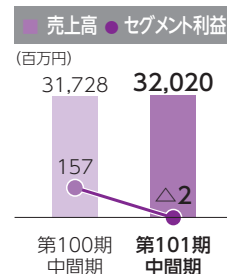
## 機械・情報セグメント

機械製品は化学プロセス機器等の取扱いが減少しましたが、大型圧縮機、ゴム・タイヤ機械、熱処理炉、建設機械部品等の取扱いは増加しました。情報関連商品はハードディスク関連装置等の取扱いは増加しましたが、液晶電子材料等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は320億20百万円（前年同四半期比0.9%増）となりましたが、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は1億57百万円の利益）となりました。



オイルフリーコンプレッサ



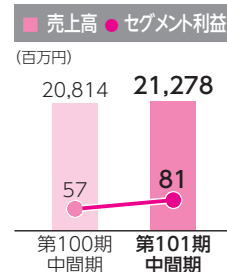
## 溶材セグメント

溶接材料は造船・化工機向けの取扱量が減少し、建築鉄骨及び建設機械向けの取扱量は堅調に推移しました。輸出関連は中国及び韓国向けを中心に増加しました。また、溶接関連機器は汎用溶接機の取扱いが増加し、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いは堅調に推移しましたが、海外向け設備案件の取扱いが減少しました。生産材料は溶剤原料の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は212億78百万円（前年同四半期比2.2%増）となり、セグメント利益は81百万円（同43.0%増）となりました。



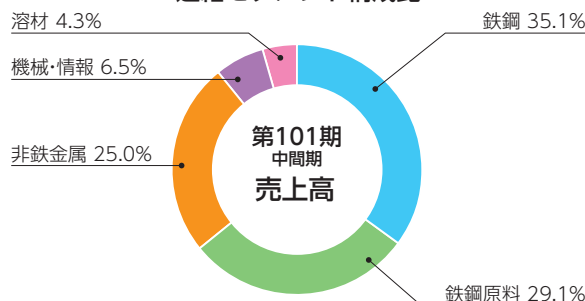
溶接ロボットシステム



### 連結セグメント構成

セグメント	売上高	セグメント利益
鉄 鋼	173,328	2,354
鉄 鋼 原 料	143,373	558
非 鉄 金 属	123,406	914
機 械 ・ 情 報	32,020	△2
溶 材	21,278	81
そ の 他	191	△10
(消去または全社)	△31,372	20
合 計	462,227	3,915

### 連結セグメント構成比



※上記連結セグメント構成比には、報告セグメントに属さないその他の売上高及び内部取引消去額を含んでおりません。

## ■ 連結決算

### ■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第100期 2018年3月31日現在	第101期中間期 2018年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	239,304	243,521
固定資産	44,367	45,179
有形固定資産	8,943	8,487
無形固定資産	659	682
投資その他の資産	34,764	36,009
資産合計	283,672	288,700
<b>負債の部</b>		
流動負債	205,321	209,695
固定負債	24,624	23,682
負債合計	229,946	233,377
<b>純資産の部</b>		
株主資本	46,648	49,007
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	38,370	40,729
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	4,190	3,975
非支配株主持分	2,886	2,339
純資産合計	53,725	55,322
負債純資産合計	283,672	288,700

(百万円未満切捨て)

### ■ 四半期損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第100期中間期 2017年4月1日~2017年9月30日	第101期中間期 2018年4月1日~2018年9月30日
売上高	461,629	462,227
売上原価	446,730	447,197
売上総利益	14,899	15,030
販売費及び一般管理費	11,273	11,462
営業利益	3,625	3,567
営業外収益	1,286	1,435
営業外費用	790	1,087
経常利益	4,121	3,915
特別利益	90	152
特別損失	56	2
税金等調整前四半期純利益	4,155	4,065
法人税、住民税及び事業税	1,393	1,135
法人税等調整額	△151	△19
四半期純利益	2,913	2,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,854	2,934

(百万円未満切捨て)

### ■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第100期中間期 2017年4月1日~2017年9月30日	第101期中間期 2018年4月1日~2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,145	△4,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,928	975
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△246
現金及び現金同等物の増減額	△370	△4,059
現金及び現金同等物の期首残高	16,490	19,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,119	14,962

(百万円未満切捨て)

# 業績予想・配当の状況・株式の状況

## 2019年3月期の連結業績予想

2018年4月1日～2019年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	929,467百万円	945,000百万円	1.7%
営業利益	8,119百万円	7,500百万円	△7.6%
経常利益	8,624百万円	8,000百万円	△7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,449百万円	5,500百万円	0.9%
※1株当たり当期純利益	615.47円	621.12円	0.9%

※上記の今期予想は2018年7月31日開示の予想数値であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 株式の状況

発行可能株式総数 27,000,000株

発行済株式の総数 8,855,934株  
(自己株式4,628株を除く)

株主数 3,487名  
(前事業年度末比66名増)

### 大株主（上位10名）

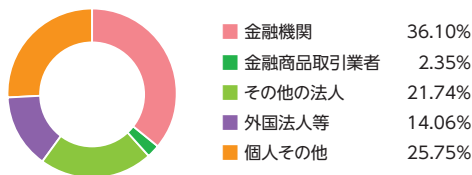
株主名	持株数（株）	持株比率（%）
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託神戸製鋼所口)	1,906,200	21.52
株式会社神戸製鋼所	1,179,118	13.31
神商取引先持株会	731,900	8.26
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	187,900	2.12
神鋼商事従業員持株会	169,131	1.91
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	155,500	1.76
シンフォニアテクノロジー株式会社	150,000	1.69
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	126,532	1.43
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	110,499	1.25
株式会社三菱UFJ銀行	109,280	1.23

## 配当の状況

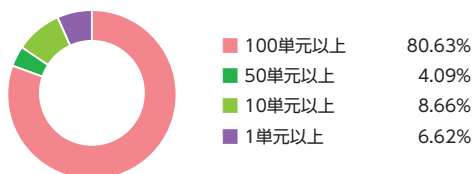
	1株当たり配当金（円）			配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （年間） （%）
	中間期末	期末	年間			
2019年3月期	55.00	55.00 (予想)	110.00 (予想)	—	—	—
2018年3月期	45.00	65.00	110.00	974	17.9	2.0
2017年3月期	4.00	60.00	—	885	29.8	2.0
2016年3月期	4.00	4.00	8.00	708	20.4	1.7

※2016年10月1日付けで、当社普通株式について、単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）及び株式併合（10株を1株に併合）を実施しましたので、2017年3月期の年間配当金は「—」と記載しております。

## 所有者別株式分布状況

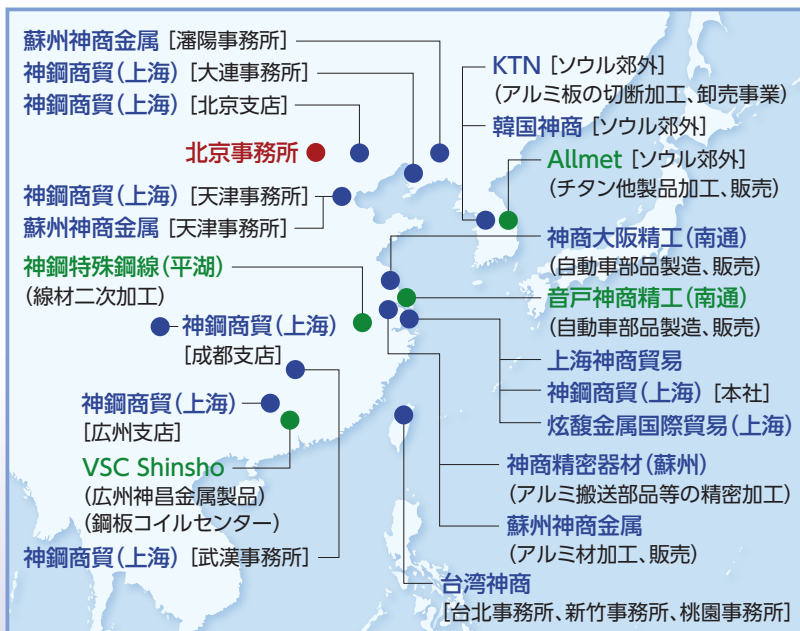


## 所有株数別株式分布状況



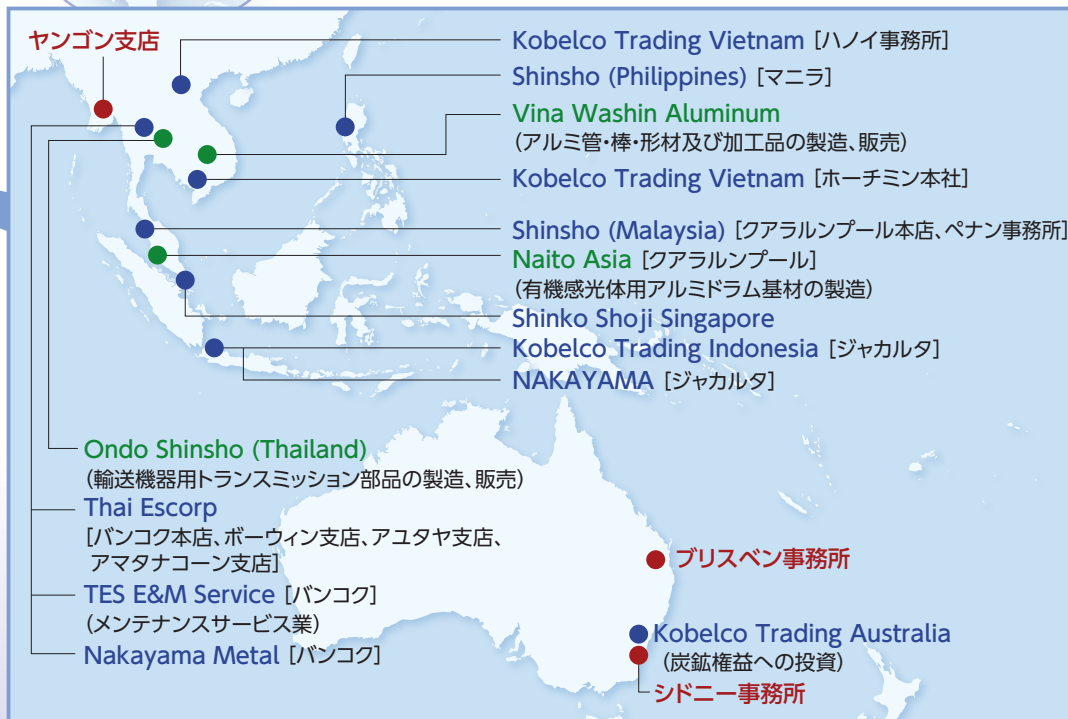
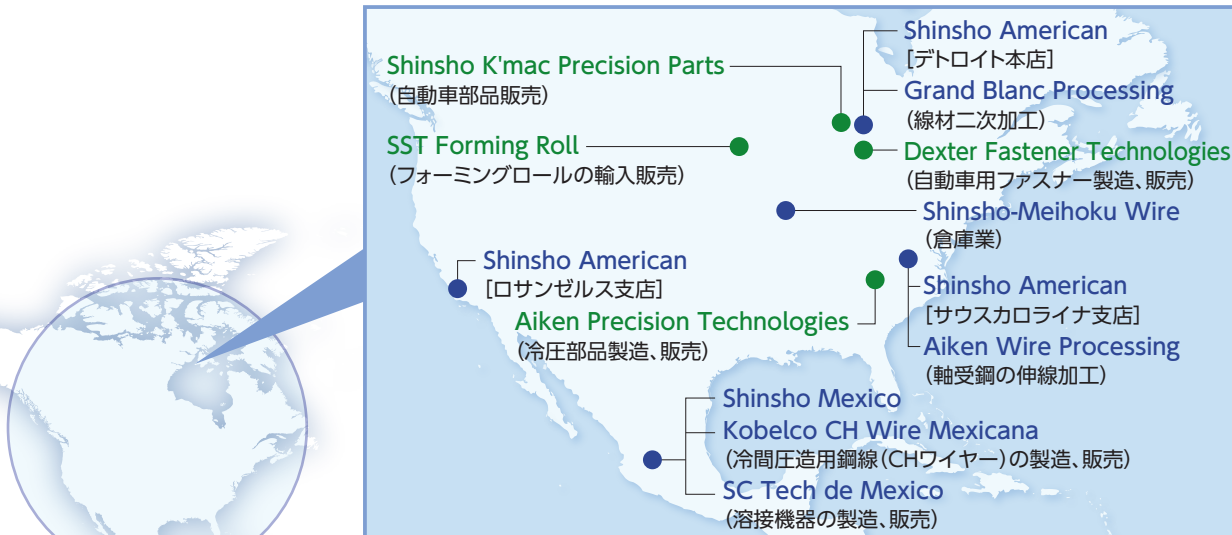
(ご参考)

# 神鋼商事グループ海外ネットワーク (2018年9月30日現在)



- 海外事業所
- 主要子会社
- 主要関連会社





## トピックス

### TOPICS 1 タイエスコープ 30周年記念セレモニーを開催

タイエスコープは本年5月に創立30周年を迎え、9月5日に、記念セレモニーを執り行いました。神戸製鋼グループのタイ現地法人や主要取引先等を招待し、また、ほぼすべてのナショナルスタッフが出席し、総勢218名で30周年の節目を祝いました。

同社は1988年5月、現地における溶接ワイヤ製品の拡販を目的に設立されました。

現在では鉄鋼、非鉄金属、機械・情報、溶接の4セグメントを有しており、需要分野としては自動車・二輪、空調、端子・半導体、建設機械、建築等、多岐に渡っております。

同社の売上規模は子会社のTES E&Mサービスとの連結で250～300億円程度、従業員数93名まで成長しており、当社グループの3大地域の一つであるアセアン・インド地域における主要拠点となっております。



鏡開き (左から3人目が神鋼商事/森地社長  
中央がタイエスコープ/中村社長)



パーティーの様子

### TOPICS 2 「神商精密器材 (蘇州) 有限公司」新工場開設

当社グループの中国のアルミ精密加工工場「神商精密器材 (蘇州) 有限公司 (以下、神商精密)」は、新工場を開設、2018年9月より稼働開始しました。

神商精密は、2010年12月に当社グループ唯一のアルミ精密加工拠点として、現地の需要家のニーズに応えてきました。

同社製品は液晶・半導体製造装置向けの部材として使用されており、近年世界中で拡大する需要に対応すべく、新工場では大型のマシニング設備を増強し加工能力を向上させました。

今後も当社グループは「神戸製鋼グループの中核商社」となるべく、グローバル展開の基盤拡充を図ってまいります。



工場内 マシニングセンターの様子

名 称：神商精密器材 (蘇州) 有限公司  
KOBELCO PRECISION PARTS (SUZHOU) Co.,Ltd.  
所 在 地：江蘇省蘇州市蘇州高新区建林路666号輸出加工区付属工業園12号棟  
設 立：2010年12月  
資 本 金：450百万円  
出資比率：神鋼商事(株)80% (株)コベルコ科研20%  
従業員数：75名  
事業内容：液晶・ソーラーパネル製造装置用アルミ部品の製造、  
ターゲット材ボンディング加工、アルミ板の切断加工及びこれら製品の販売



新工場 建屋入口の様子

# ■ 会社データ (2018年9月30日現在)

## ■ 会社概要

設立	1946年11月12日
発行済株式総数	8,860,562株
資本金	5,650,281,250円
主要取扱品目	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、 情報産業関連商品、溶材

## ■ 役員

取締役及び監査役	代表取締役社長	森地高文
	代表取締役	後藤隆
	代表取締役	加藤宏寛
	代表取締役	渡辺彰雄
	取締役	松田健児
	取締役	大西恭也
	取締役	向井司
	取締役	小宮山清
	取締役	阪本誠市
	監査役(常勤)	大城正樹
	監査役(常勤)	金子裕信
	監査役	吉田明彦
	監査役	浄弘

執行役員	※ 社務執行役員	長森地高文
	※ 専務執行役員	後藤宏寛
	※ 専務執行役員	加藤寛
	※ 専務執行役員	渡辺彰雄
	※ 専務執行役員	松田健児
	※ 専務執行役員	大西恭也
	※ 専務執行役員	向井美弘
	※ 専務執行役員	松原通雄
	※ 専務執行役員	中井智
	※ 専務執行役員	牟田芳宏
	※ 専務執行役員	前田雅人
	※ 専務執行役員	足達正人
	※ 専務執行役員	松林真也
	※ 専務執行役員	吉田浩司
	※ 専務執行役員	田中泰幸
	※ 専務執行役員	渡部章
	※ 専務執行役員	高田

(注)1 小宮山 司及び阪本 清の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所に独立役員として届出ております。

(注)2 吉田 裕信及び浄弘 明彦の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注)3 執行役員のうち、上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

## ■ 国内事業所 及び 子会社

事業所	
大阪本社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
東京本社	東京都中央区日本橋一丁目2番5号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
神戸支社	神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国(広島)、加古川、静岡、北陸(富山)、 東北(仙台)、札幌
出張所	熊本、徳山、岐阜

子会社	
神商鉄鋼販売株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
森本興産株式会社	大阪市西区新町一丁目11番21号
神商非鉄株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
中山金属株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
コベルコ筒中トレーディング株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
株式会社マツポー	東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門333森ビル4F
アジア化工株式会社	大阪市中央区伏見町三丁目2番4号 淀屋橋戸田ビル
エスシーウエル株式会社	大阪市淀川区西中島四丁目6番17号
神商ビジネスサポート株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領  
株主確定日 3月31日

中間配当金受領  
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の当社IR情報等をご覧ください。



▶ 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp/>



〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号  
電話 (0120) 580-217  
<http://www.shinsho.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。